

医療行動科学 1

年次	学期	学則科目責任者
1年次	前学期	渋谷 鑛 (歯科麻酔学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：1単位 歯科医学を学び、これから歯科医師になろうとする学生に対し、将来の歯科医師としての自覚を醸成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯学部学生としての自覚を持ち、自らが目指す歯科医学・歯科医療の概略を理解する。 2. 本学における教育理念に基づいた6年間の学習の到達目標を理解する。 3. これから学習する歯科医学・医療がどのような意味を持つか、その概略を提示し学習の動機付けを図る。 4. 歯科医師としてのあるべき姿と社会的責任の重みを知り、その自覚を形成する。 5. 自己の歯科医師としての将来像を考える契機として、本学付属病院や開業歯科医院（診療所）の見学体験から歯科医療の一端を認識する。
担当教員	渋谷 鑛、伊藤 孝訓、葛西 一貴、清水 武彦、野本 たかと、松島 潔、小方 頼昌、※清野 宏、河相 安彦、近藤 壽郎、笹井 啓史、黒木 俊一、木本 統、村上 洋、山口 秀紀、卯田 昭夫、下坂 典立、青木 伸一郎、岡本 康裕、鈴木 正敏、荒巻 さやか、佐藤 俊秀、加來 洋子、中村 真実、井下田 繁子
教科書	講義内容に関連した資料を配布する。
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験・小テスト (60%)、制作物・体験レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席をすることが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	本授業は、知識の暗記でなく、講義を通じて提示・示唆されたものを自分なりに考え会得するものである。将来の歯科医師像を心に描き、目的意識を持って学習に励むこと。「歯科医学とは何か」を知る契機になり、歯科医学の本質である「科学する心」を醸成して欲しい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/12 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/04/12 (水) 1時限 09:00～10:30 B	オリエンテーション 松戸歯学部 理念、教育概要	<p>【授業の一般目標】 日本大学松戸歯学部で歯科医師を目指すため松戸歯学部の教育方針を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 2. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 3. 歯科医師の責務を説明できる。 4. 日本大学並びに松戸歯学部の歴史を概説できる。 5. 松戸歯学部のアドミッションポリシーが説明できる。 6. 松戸歯学部のカリキュラムポリシーが説明できる。 7. 松戸歯学部のデプロマポリシーが説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科医学について自習し説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p>	渋谷 鑛 伊藤 孝訓
2017/04/19 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/04/19 (水) 1時限 09:00～10:30 B	プロフェッショナリズム① 振替日：6月14日 (水) 1限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、プロフェッショナリズムを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 2. 医療職プロフェッションを説明できる。 3. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 4. 歯科医師の責務を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自己の活動を振り返る大切さを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり、グループワーク (課題のまとめ)</p>	渋谷 鑛 伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/19 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/04/19 (水) 1時限 09:00～10:30 B	プロフェッショナル リズム① 振替日：6月14日 (水) 1限目	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 1 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	渋谷 鏡 伊藤 孝訓
2017/04/26 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/04/26 (水) 1時限 09:00～10:30 B	プロフェッショナル リズム② 振替日：6月14日 (水) 2限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッショナルとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、プロフェッショナルリズムを理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 2. 医療職プロフェッションを説明できる。 3. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 4. 歯科医師の責務を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 自己の活動を振り返る大切さを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり、ポートフォリオの作成</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 1 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	渋谷 鏡 伊藤 孝訓
2017/05/10 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/05/10 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 展開① 振替日：6月21日 (水) 1限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッショナルとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の専門性と将来の展開を理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 歯科医学の専門分化について説明できる。 2. 臨床歯科医学の歯科保存学、歯科補綴学、歯周病学について説明できる 3. 咀嚼・嚥下・摂食を含む口腔機能の維持向上について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科医学の専門分化について説明し各科目の特性について理解する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 1 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク a 歯科医師・医師間</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渋谷 鏡 松島 潔 小方 頼昌 河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/10 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/05/10 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の展開① 振替日：6月21日 (水) 1限目	A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *④患者に最も適した医療を説明できる。	渋谷 鏡 松島 潔 小方 頼昌 河相 安彦
2017/05/17 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/05/17 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の展開① 振替日：6月21日 (水) 2限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の専門性と将来の展開を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医学の専門分化について説明できる。 2. 臨床歯科医学の口腔外科学、インプラント学について説明できる。 3. 高齢社会における歯科医療・ケアについて説明できる。 4. 高齢者歯科治療における注意点について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯科医学の専門分化について説明し各科目の特性について理解する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク a 歯科医師・医師間 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *④患者に最も適した医療を説明できる。	渋谷 鏡 近藤 壽郎 山口 秀紀 村上 洋
2017/05/24 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/05/24 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の展開③ 振替日：6月28日 (水) 1限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の専門性と将来の展開を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医学の専門分化について説明できる。 2. 臨床歯科医学の歯科矯正学、小児歯科学、障害者歯科学について説明できる。 3. 歯科疾患の予防を重視した育成系歯科医療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯科医学の専門分化について説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。	渋谷 鏡 葛西 一貴 野本 たかと 清水 武彦
2017/05/31 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/05/31 (水) 1時限 09:00～10:30 B	付属病院見学 振替日：6月28日 (水) 2限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、学部の付属病院医学の特徴を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 付属病院見学のマナーを理解する。 2. 付属病院における診療の実際を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 医院に通院する患者の気持ちを説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 見学・実習	渋谷 鏡 伊藤 孝訓 山口 秀紀 青木 伸一郎 井下田 繁子 卯田 昭夫 岡本 康裕 下坂 典立 鈴木 正敏 中村 真実 荒巻 さやか 佐藤 俊秀 加來 洋子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/31 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/05/31 (水) 1時限 09:00～10:30 B	付属病院見学 振替日：6月28日 (水) 2限目	<p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 1 教室、付属病院</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク c 多職種連携</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク a 歯科医師・医師間 b 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士間 c 多職種連携</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 *②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。 *③保健・医療・福祉・介護の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。</p>	渋谷 鐘 伊藤 孝訓 山口 秀紀 青木 伸一郎 井下田 繁子 卯田 昭夫 岡本 康裕 下坂 典立 鈴木 正敏 中村 真実 荒巻 さやか 佐藤 俊秀 加來 洋子
2017/06/07 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/06/07 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学における研究 振替日：7月5日 (水) 1限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の研究マインドを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 研究は歯科医学の発展と患者の利益になることを説明できる。 2. 研究は患者に施行する治療の根拠となることを説明できる。 3. 研究は患者を対象とした場合、同意を得ることの必要性を説明できる。 4. EBD (エビデンスベースドデンティストリー) を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 プロフェッショナリズムを概説できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 1 教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 エ 臨床試験・治験と倫理 b 臨床研究、疫学研究の倫理指針</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-2) 研究マインドの涵養 ①研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 ②生命科学の講義・実習で得た知識をもとに、診療で経験した病態の解析ができる。 ③患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげることができる。 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に参加することができる。</p>	渋谷 鐘 清野 宏
2017/06/14 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/06/14 (水) 1時限 09:00～10:30 B	社会保障制度における歯科医療と歯科保健 振替日：7月5日 (水) 2限目	<p>【授業の一般目標】 これからの社会が求める歯科医療を考えるため、歯科医療をとりまく様々な制度について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療を取り巻く社会保障制度について説明できる。 2. 歯科医師に課せられた法的義務について説明できる。 3. 少子高齢社会における歯科医療のあり方について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 これまでの講義 (プロフェッショナル①②、歯科医学・医療の展開①-③) から歯科医療の現行制度と将来像について自身の考えが述べられる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 1 教室</p>	渋谷 鐘 伊藤 孝訓 笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/14 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2017/06/14 (水) 1時限 09:00~10:30 B	社会保障制度における歯科医療と歯科保健 振替日：7月5日 (水) 2限目	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 a 歯科医師法 e 医療法 g 地域歯科保健活動での各職種の連携に関する制度 16 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク c 多職種連携 イ 地域医療でのチームワーク a 病診連携 e 地域連携クリニカルパス 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済 (国民医療費) を含む。】 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。</p>	渋谷 鏡 伊藤 孝訓 笹井 啓史
2017/06/21 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2017/06/21 (水) 1時限 09:00~10:30 B	開業医見学の前準備 (演習) 振替日：7月12日 (水) 1限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、開業歯科医師の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 社会人としてのマナーと態度を実施できる。 2. 診療室におけるマナーと態度を実施できる。 3. 医療スタッフ、患者との良好な関係を築くことができる。 4. 見学活動の振り返りができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 社会人としての対応ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり、グループワーク (見学の視点について討議)</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 *②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。</p>	渋谷 鏡 伊藤 孝訓 山口 秀紀 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏 佐藤 俊秀 加来 洋子 中村 真実
2017/06/28 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2017/06/28 (水) 1時限 09:00~10:30 B	振替日：7月12日 (水) 2限目 (振替休講) 4月22日 (土) 9:30~11:30 体験学習 (歯科検診) の代休	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、患者としての立場から受診の心理を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 受診時の患者としての心理を体験する。 2. 受診時の検査の苦痛を体験する。</p>	渋谷 鏡 伊藤 孝訓 木本 統 黒木 俊一 山口 秀紀 青木 伸一郎 卯田 昭夫 岡本 康裕 下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/28 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2017/06/28 (水) 1時限 09:00~10:30 B	振替日：7月12日 (水)2限目(振替休講) 4月22日(土)9:30~11:30体験学習(歯科検診)の代休	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 患者と医師の関係について概説できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり、体験学習。</p> <p>【学修方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 イ 検査の安全 b 実施(必要性)の説明</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。</p>	鈴木 正敏 荒巻 さやか 佐藤 俊秀 中村 真実
2017/07/05 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2017/07/05 (水) 1時限 09:00~10:30 B	平常試験 振替日：7月19日 (水)1限目	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p>	渋谷 鐘 伊藤 孝訓 笹井 啓史
2017/07/12 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2017/07/12 (水) 1時限 09:00~10:30 B	社会人マナー、松戸警察講演 振替日：7月19日 (水)2限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、社会人としてのマナーを理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.社会人としてのマナーを説明できる。 2.歯科医学生に対する世間の評価について説明できる。 3.脱法ドラッグの危険性について説明できる。 4.夏季休暇を安全に過ごす、防犯について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 大人の意味を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり、警察提供の実物観察。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p>	渋谷 鐘 山口 秀紀 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/19 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/07/19 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業医見学のまとめ1 振替日：9月6日 (水) 1限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、開業歯科医の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 開業歯科医師の特徴を説明できる。 2. 開業医での見学内容を客観的・批判的に統合整理することができる。 3. 開業医でのデンタルスタッフの役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 開業医を見学したポートフォリオをまとめる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり、グループワーク (見学の振り返りシートの作成)</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	渋谷 鏡 伊藤 孝訓 山口 秀紀 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏
2017/09/06 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2017/09/06 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業医見学のまとめ2 (発表) 振替日：9月6日 (水) 2限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、開業歯科医の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 開業歯科医師の特徴を説明できる。 2. 開業医での見学内容を客観的・批判的に統合整理することができる。 3. 開業医でのデンタルスタッフの役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 開業医を見学したポートフォリオをまとめる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり、グループワーク (発表)</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	渋谷 鏡 伊藤 孝訓 山口 秀紀 卯田 昭夫 下坂 典立 鈴木 正敏